

陳 情 文 書 表

(子ども若者はぐくみ局)

受理番号	2384	受理年月日	令和4年2月4日
件名	子供に係る相談窓口の一本化等		
要旨	<p>コロナの収束が見られない中、医療関係者の方々、そして、国民の命を守るために日々戦っている先生方に感謝の気持ちを心よりお礼申し上げます。</p> <p>まず初めに、発達障害イコール大きな壁と思ってもらえると、分かりやすいかと思う。また、区役所にある子どもはぐくみ室の方にもいつも相談に乗ってもらい、他の方からは、どんな困りごとがあるのかも聞き出してきた。声を上げるのをやめてしまい諦めている人たち。目の前の子供のことで精一杯。今の制度にさえ気付いておらず、改善してもらおうエネルギーがない。早くに診断名が付いたが、知的には問題はなく普通学級で過ごせるものの、不登校。私は、その中の一当事者として見逃されてきた発達障害（自閉症、ADHD、学習障害）、特別学級でもなく通常学級にいる子供たちの困りごと、そばで見守る親の悲しみ、辛さについて陳情したいと思う。</p> <p>私は京都生まれ、京都市育ちの3児の母である。幼稚園免許、保育士免許を取得し、現在、幼稚園の補助として働いている。</p> <p>私の娘が小学校1年生のときから問題行動が起きた度に、ネットで調べて児童相談所やいろんな医師に相談やSOSを出したが、どうしたら伝わるのか、何回同じことを言わせるのか。相談しても人によりけりで、私の気持ちに寄り添ってくれる方もいたが、そうでなかったときには、たらい回しにされている気持ちになった。</p> <p>そんな中、やっと、心に寄り添ってもらえる子どもはぐくみ室の方と出会い、発達検査をするように声を掛けてもらえた。現実を受け止めるまでには、何年も時間が掛かった。診断名が分かったのは小学校6年生のときである。</p> <p>娘とコミュニケーションがうまく取れない関係に苦しんだ。人としてなぜそんなことをするのか理解もできず、自分へのいら立ち、悲しみのふちにあるときに、担任の先生からの淡々とした電話報告で、とうとう感情が爆発したこともある。問題が解決して、やっと平和に過ごせると思っても、次から次へと問題行動、友達に相談できない担任の先生との相性や理解不足、家庭崩壊。負のループからなかなか抜け出すことができないまま中学生の年代となった。入学後もスムーズに学校生活が送れるようにと、何度も学校に足を運び話し合う場を作っても、担任とうまくコミュニケーションが取れず、友達ともうまくなかない。学校、家庭内でのトラブルにより、家庭内は更に悪化した。娘の行方が分からずに警察にまでお世話になったこともあった。しかし、学校は普通の女の子であるかと思春期だからといった反応である。思春期だけ、普通の子、学校では頑張っているで終わらせないでほしい。ただ、本人が目に見えない努力を人一倍しているのである。</p> <p>近年、通常学級でも、診断がされていない子供たちが増加傾向にあるのは、幼稚園免許更新のときにも実際現場で働いていても感じる点である。娘の学校生活や現場で思うことは、子供のポイントをしっかり押さえることにより、関わる人と、特性を持った子供たち、少し支援のいる子供たちの両者が気持ち良く社会生活を送ることができるのではないかと思う。しかし、理解してもらえない社会生活を送ることにより、少なくとも子供たちが、一次感情である悲しみ、辛さ、苦しみを超え、二次感情による怒り、挫折、自尊心の欠如で心のやり場をなくし、学級崩壊、不登校、自分の居場所探し、他者への迷惑行為、最悪の場合、自殺に至る。小・中学校は義務教育にもかかわらず、その子に対しての幼、保からの引継ぎが余りにも不十分であり（学年が上がるときも同じ）、学校全体の理解不足である。できれば、子供が学生の間は、今までの歴史をしっかりと引継ぎしていただきたい。その度に保護者も説明し、理解してもらえよう努力はするが、かなりのパワーが必要で親だけで抱え込むには負担が大きすぎる。</p> <p>現在、全て担当部署ごと（児童相談所、児童福祉センター、子どもはぐくみ室、警察、児童施設）に分かれていて、最終権利は児童相談所にある。保護者もその都度各部署に連絡、相談をする。連携が取れているかと思っても警察から児童相談所への書類報告は、2週間ぐらい掛かった。直接、児童相談所に相談をしても、書類が届いていないからとの返事であった。</p> <p>時と場合によるかと思うが、誰一人子供を引き離してほしいとは願っていないはずである。ただただ、目の前のしんどさを解決したくてもできない、どこに伝えたら分かってもらえるのか分からない辛さがある。仕方がない。大変だ。これが特性。諦めようではなく、当事者や親の気持ちに寄り添い、解決策を一緒に考えてもらえる、そこに電話を掛けたら安心、心が落ち着く、そんな場所を作っていただきたい。それにより、学校、時には病院への連携もスムーズに行えるのではないかと思う。</p> <p>子育ては、本来楽しいはずである。しかし、今の行政、教育のやり方、世間の理解不足では、親も子供も生きづらい社会である。京都府、京都市の子供たちには、自分たちで夢を切り開き、個々の力を発揮できるような環境、支援をするよう当事者たちの声にしっかりと耳を傾け、寄り添い、どうか改善していただけるよう力を貸していただきたい。</p> <p>ついては、子供のことについて、安心・安全で、24時間、日曜日や祝日でも相談できる場所を一本化することを願う。</p>		
陳情者			
回付委員会	教育福祉委員会		